

＝紙面紹介＝

- 1 頁 会長あいさつ、総会通知
- 2 頁 学校長あいさつ、図書館の思い
- 3 頁 本校に着任して、定時制の一年
- 4.5頁 全国大会出場が続出
- 6 頁 事務局だより
- 7 頁 予算・決算
- 8 頁 同窓会規約

福島県立郡山北工業高等学校

同窓会報

発行所
〒963 福島県郡山市富久山町八山田大林1
福島県立郡山北工業高等学校同窓会
郡山 (0249) 32-1199
発行者 渡辺達英
編集者 広江力男
発行部数 8,500 部

印刷所
(有)ヤシマ孔房
〒963 郡山市葉根1-6-21
☎ 22-3533(代)



同窓会長 渡辺達英

本の思い出

私は本が好きで、気に入った本があるとすぐに買ってしまふ、だから読まずに本棚に積まれた本は何百冊かと思われる。今すぐ読まなくとも、いつかは読める、そんな気持ちがい買いさせる。私の読書は高校時代からで、あの頃詩が好きで島崎藤村、北原白秋の詩を学校に持って行って読んでいた。その後文庫本で出た日本近代詩集等を買ったが全部を読まずに今では段ボールに入っている。学生時代には哲学・心理学・思想的なものに興味をおぼえ、カント・ヘーゲル・ショーペンハウエル・ボードレー爾等の本を買いつつ、これには友人の影響もあったと思う。高校時代に小学校からの友人が二人いて、私の家でよく三人で、哲学を論じ、国家を論じ恋愛を論じ合つた。あの頃スタンダールの「恋愛論」等哲学者の書いた恋愛論が多く出版された様に思う。我々の学生時代は、「辯証論」とか

「哲学について」とか「死について」印度哲学、東洋思想、バイブル等がこの本屋の棚にもあった。今の本屋に行つて見ると、哲学的な本はあまり見られない。一等場所の中央には文庫本、新書本がずらりと並び、特に赤川次郎等の推理小説が大きなスペースを取っている。私の子供の頃は「少年クラブ」の時代で、この本の影響も大きかったと思う。江戸川乱歩の少年探偵団、怪人二十面相、南洋一郎の海洋冒険小説、佐藤紅緑の少年熱涙小説等々好んで読んだものである。高校を卒業して古書店で見つけた、エドガー・アランポーの猫を讀んで驚き、ホフマンの怪奇小説に戦慄した思い出等思ひはつきない。高校三年の時友人にそのおかげで演劇部をつくることになった。私が初代部長で、先生は学生演劇をやっていた渡部先生と云つた。その関係で脚本は大分読んだ、菊池寛、秋田雨雀、山本有三

等、洋物ではシェークスピア、モリエール、等作者名は忘れたものが多いが、今考えると良く読んだものだと思う。その他演劇雑誌、ラジオドラマ等高校を卒業してもしばらく読んでいた。先刻私の読書は高校時からと書いたが、小学校に入った頃と思う。あの頃は本を買つてもらうのは、お盆と正月の二度くらいであった。それも少年クラブの月おくれで、正月に十二月号である。雑誌の付録がいっぱい入つていて、それだけでも楽しいものであった。ペーパークラフトの模型、小形の本、まんが本等々ほんとに楽しいものばかりであった。小学生高学年頃は母にせびつて古本を買つて読んでいた。あの頃は子供用の古本があつて読むにはことかかなかつたものである。戦争が激しくなるにつれて読書も変り、飛行機、戦車、銃に関する本を買ひ、少年科学のファンとなつた。この頃は紙質も悪く、頁数も極度に少なくなつて来たが、それでも何とか買うことが出来た。今この思い出を書きながら少年時代の想い出がなつかしい郷愁をおぼえる。読書はいつも新鮮である。好きな本を好きな所で好きな様に読みたいものである。

昭和63年度 同窓会 総会通知

総会通知

昭和63年度定期総会を左記のように開催いたします。多数参加して下さいませようご案内申し上げます。尚新会員はご招待いたしますので会費は無料です。

記

- 一、五月十五日(日) 午後二時より
- 一、場所 多楽食堂 郡山市堤下町一、会費 三千元 (当日持参下さい)
- 懇親会

郡山南に

新設工高

今年四月に須賀川市滑川に一学年8学級の清陵情報高校が誕生する。これに伴い本校内に昨年、新設標準備室が設立された。学科は情報電子・電子機械・情報処理・情報会計の四学科。

文房具・事務用品・ファンシー・アクセサリ・画材

有限会社

渡 達

代表取締役 渡辺達英 (昭24機械)

郡山市麓山通り (市民会館入口) TEL 22-1159





校門より校舎を望む



学校長 佐藤 正与

門柱の竣工に よせて

今年、春の同窓会総会と夏の東京支部総会に出席させていただき、多くの卒業生の皆様とお逢いすることができました。

これらの会に出席された同窓生の方々とお話をすると、皆様いちように母校のことについて強い関心をもっているばかりでなく、種々の心配りをしていただいており、全く頭が下がります。

仕事の都合で出席できなかった多くの卒業生も、同じように考えてくれているのではないかとおもいます。青春時代の三年間を多くの仲間たちと過ごしたことが、こんなにも心に残ることを思うとき、学校を預かる者として身のしきしまるものがありました。

同窓会の皆様に改めて、心からお礼を申し上げます。さて、昨年の十一月七日

の創立十周年式典の記念事業として計画された校門の建設も、去る二月十日に立派に竣工いたしました。

校門は左手に「創造」の大文字を刻んだ二十数トンの白御影石を、教師、生徒、父母を象徴する三つの大きな台座石で支えております。これは、校訓にもあるように本校教育の根幹が「創造」活動であり、それを支えるのが、生徒、父母、教師、であることを表しております。

また、右手には十トン程のやや小振りな台形の門柱に「福島県立郡山北工業高等学校」の校名板がはめ込まれています。この門柱は、本校の六つの学科を表す約五トン程の六角形の台座石の上に調和よく据えられています。これは、本校を支えるのが六つの学科であることを表しています。

地表に出ていて見える門柱はこれだけではありません。私が同窓生の皆様に報告したいことは、門柱の見える部分と同じ位の重さと形の御影石が地下に埋まって居ることによって安定感を造り出しているということでもあります。

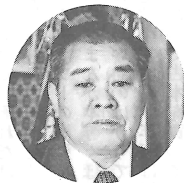
本校の門柱は見えない部分を大切に考えて、石の連結にも太さ50mm、長さ5

00mmの鋼柱10本と太さ25mm、長さ2000mmの鋼柱11本を使って、地震などにも十分に耐えられるように致しました。本当の価値は、見えない部分にどれだけを込めたかにあると考えております。

同窓生の皆様が帰郷の折などには、母校に立ち寄り是非御覧頂きたいと思えます。御協力本當に有難うございました。心からお礼

をもうしあげます。皆様の心からなる記念の門柱が、生徒たちに毎日無言の教育をしてくれております。

念願の同窓会名簿も種々の都合がありまして発刊が遅れましたが、この会報が出る頃には皆様の手元に届けられるように、事務局一同頑張っておりますのでご期待頂きたいとおもいます。



教頭 佐藤 澤 弥

図書館の

思い出

旧県立図書館は紅葉山公園の一隅にあった。毎日のように足をはこんだきつかけは、思い出せないが、手あたり次第むさぼり読んだ時期があった。

寺田寅彦にひかれ、進路の選択、上級学校への進学に工業系を専攻することになった大きな要因の一つにこのころの影響があったこととは否めない事実であろう。しかし、戦後野球部が復活し、図書館への足も遠の

き青春初期の読書熱、図書館かよしも中断した。この図書館はその後手狭になったとかで閉館され、長い仮住いのあと、一昨年福島市の信天山の山麓、福島大学経済学部の跡地に県立美術館と並んで近代的な図書館として建設され多くの人々に利用されている。

旧県立図書館跡は紅葉山公園の線にとけこみ昔をよみがえらせるなにもない。(図書館報第8号抜粋)

●カーコンサルタント



株式会社 今川

代表取締役 今川 直彦 (昭34機)

本社 〒963-01 郡山市安積町荒井東前田37-3
☎0249 (45) 1 6 2 3 (代)

車検センター 郡山市安積二丁目184-1
☎0249 (45) 8 3 0 0

(株)太成 郡山市安積町成田字高田47
カーサービス ☎0249 (45) 2 4 7 8

北工、全国大会出場が続出

北海道に県代表のサッカー、弓道では高橋奈穂美選抜大会に南東北の雄、ソフトボール部

高文連に加盟

生徒会この一年

▼生徒会

今年の運動部の戦績を見ると、サッカー、弓道、ソフトボール、バドミントン、陸上部がそれぞれ、全国大会、東北大会に出場し活躍した。中でも、サッカーは例の正月の全国高校サッカー選手権大会、二年連続出場をめざし、決勝まで駒を進めたが、持てる力を十分発揮できないまま、重圧に屈し惜敗した。だれもが勝てると思っていただけに残念である。しかし、もう来年に向けて始動している。愛好会ながら、ラグビーが活躍し、県内のトップクラスのチームと肩をならべるまでになった。発足してから七年になり、もはや愛好会のままではどうか、という時期に来ている。

ラグビーが部に昇格するのを拒む理由はないものの、本校の規模で、全国大会等でこれだけしか戦えないのはどうしてだろうか疑問を投げかける人も多い。力のある生徒が、数多くの部に分散してしまい、強いチームを作れないということ

だ。難問であるが、縮小ということも考えてみる。運動部ないと思つていいから、地区大会を勝ち抜いて県大会に出場したのは三百名近くには、全生徒の二十パーセントを越え、県内では最も力のある学校と言えよう。だからこそ、あといくつかの部も全国大会に出場できるはずだということになる。

こういう点を踏まえ、来年こそはと生徒も、顧問教師も頑張っている。

一方文化部は、昨年に結成された、高校文化連盟という組織のもと、今までは違った形で、他校との交流や活動がなされている。連盟発足間もないためまだ足なみはそろわないが、来年七月には、郡山文化センターで、県の高文祭の開会式の開催が決定している。文化部も、県単位の大きな催しができるようになった。

中でも吹奏楽は定期演奏会では、力量の高さを証明している。そして、様々のところから、演奏の要請が

あり、嬉しい悲鳴をあげている。

美術、アニメ、写真は、やまのいカルチュアセンターで作品を発表して好評であった。

このように、他校に比して活発なのだが、当の生徒達は差程にも感じていないようだ。誇りを持っていないのだが、本校生はおとなし過ぎる。

生徒会活動を通し、生徒の士気をあげ、伝統を培っていききたい。

弓道部成績

- 第39回福島県弓連春季弓道大会(62・4・29開成山) 男子団体 第三位
- 第33回福島県高等学校弓道大会(62・6・6福島農蚕) 男子団体 第三位 女子個人 優勝
- 情報二年高橋奈穂美 第17回東北高等学校弓道大会(62・6・25福島農蚕) 男子個人 準優勝
- 電気三一 二鹿侯勝裕 第40回福島県総合体育大会(62・7・26 28福島農蚕) 女子団体 近的第六位 男子個人 遠的第六位
- 電気三一 二鹿侯勝裕 女子個人 近的第六位
- 化工三一 二橋本久美子 第25回福島県高校新人弓道

大会(62・11・13 14須賀川) 男子個人 第六位

建築二 古川孝行 今年度の成績は以上であり、他に第32回全国高校弓道大会(IH)に高橋奈穂美が出場したが入賞を果たすことができなかった。

次年度はもつと良い成績を残せるよう部員一同がんばりたいと思います。

(顧問 池添祥史)

▼ラグビー愛好会

- 大会 成績
- 福島県総合体育大会 少年男子Bブロック
- 一回戦 郡北工14 3若松商
- 二回戦 郡北工32 7小名浜水産
- 決勝 郡北工20 0安達
- (Bブロック優勝)
- 福島県高等学校体育大会
- 一回戦 郡北工56 0安達
- 二回戦 郡北工0 7福島
- 福島県高校新人体育大会 Aパート
- 一回戦 郡北工4 3平工
- 二回戦 郡北工8 6磐城
- 決勝 郡北工13 6猪苗代
- (Aパート優勝)

工作機械 / 板金機械 / 熔接機材 / 作業工具 / 測定工具 / 研磨材

株式会社 伊藤商店機材部

代表取締役 伊藤英二 (28年度建築科卒)

〒963 郡山市菜根5丁目21番13号 ☎ (0249) 33-0611 (代)

全国選抜出場

南東北代表

▼ソフトボール

創部10年目を迎えた今年
は、春季県大会優勝という
巧スタートだったが、高校
総体県大会では、気の緩み
が出て第三位という不本位
な結果となり、大シヨック
を受けた。県総体へは、大
接戦の末もう一步というこ
ろで、涙を飲んだ。しか
し、生徒たちの表情に充実
感が見られた。そして今年
最後の公式戦である新人大
会で、一・二年が無心に戦
い県大会優勝、南東北大会
へ出場し、決勝戦へ進み、
延長の末優勝、と同時に四
年ぶり二回目の全国選抜大
会出場を決めた。今年の試
合結果は、次の通りである。

春季県大会——優勝
北工8対7 福島 北工5対2 日大
高校総体県大会——二位
北工2対3 福島 北工1対3 日大
県総体——一位
北工8対7 福島 北工6対7 日大
新人県大会——優勝
北工3対2 福島 北工2対0 日大
南東北大会——優勝
(一回戦)
白石工 1000001002
郡北工 2160001X

(決勝)

郡北工 01010000024
古川 000000200013
(延長10回タイブイク)

四年ぶり二回目全国選抜大
会出場(顧問 熊田良治)

北工、県南

地区制覇

▼バドミントン部

県南地区大会において、
我輩北工バドミントン部は
団体優勝、個人(シングル
ダブルス)共に上位を独占
するというように圧倒的な
強さを誇っています。しか
しながら県大会においては
打倒会津工業という大きな
壁を突破しない限り優勝と
いう文字はありません。昨
年もインターハイ団体決勝
において惜敗しています。
先頭行われた新人戦県大会
においても会津工業と決勝
でぶつかり惜しくも3-2
で敗れましたが、来年はき
つと会工を倒せる自信が
ついたようです。また個人
戦においても、遠藤、武内
組が3位に入賞、そして来
年はもっと上位に、そして
他の選手も彼等に実力的に
はひけをとらない選手がた
くさんいるので、部員たち
の、そして北工バドミント

ン部の今までの以上の飛躍を
期待して下さい。
(顧問 富樫 実)

寄稿

最後の試合

卓球部 石沢 貴裕

ぼくたち、卓球部はなん
とか三年生最後の大会、県
高校卓球大会に出場した。
自分たちは、この一年位に
ぼくが2年生のときになん
とか県大会に出場できるよ
うになった部でした。
今までに、出場しても県大
会での結果は県の強豪を相
手になかなか勝つことがで
きませんでしたので、今回
三年生にとって最後の、こ
の試合には今までの無念を
晴らすべく選手一丸となつ
て挑みました。
結果は、残念ながら初戦
の聖光学院戦、3対0で敗
れてしまいました。
その瞬間、これで部活動は
終わってしまったんだ、と思
いました。それと同時に今
まで部に練習したことな
どが頭の中をよぎってい
きました。
今度は卓球部OBとして
後輩の活躍を期待したいと
思います。

全国定通

大会出場!

▼定時制生徒会

今年も日本武道館、講道
館において、全国定時制通
信制の柔道・剣道大会が、
それぞれ開催されました。
本校定時制は、柔剣道そ
ろって三年連続出場をはた
し、今年になって剣道で個
人戦ベスト8(機械科三年
長尾剛)進出しました。そ
んな中で生徒達は、来年こ
そは上位入賞を、と努力し
ています。しかし、働きの
がら学ぶという事は、口
で言うほどにたやすいもの
ではありません。更に、そ
の疲れきつた身体で部活動
を続ける生徒達の苦勞、忍
耐には、我々の想像以上の
ものがあると思います。

仕事・勉強・そして部活
動と自由になる時間のない
生活の中で、生徒達は「来
年こそは」の希望を胸に練
習に励んでいます。その中
には一年生の時から三年連
続全国大会出場、そして四
年目の来年も、そして上位
入賞をと、がんばっている
生徒もいます。今年、県大
会で敗退した生徒も、来年
こそは全国大会へと、努力
しています。

個人一人一人の目標です
が全員来年こそは、と目標
を持って、練習に励んでお
りますので、皆様のご理解
とご協力をお願いいたしま
す。
(顧問 半沢 徹)

部活動紹介

本校の放課後の部活動に
は、大きく三つに分かれま
す。学芸部には、吹奏楽部
美術部、英語部、囲碁・将
棋部、科学部、電気部、電
子部、無線部、写真部、ギ
ター部、化学部、機械部、
建築部、自動車部、アニメ
ーション部があります。体
育部には、野球部、バレー
ボール部、サッカー部、ハ
ンドボール部、バスケット
部、卓球部、柔道部、剣道
部、弓道部、バドミントン
部、山岳部、体操部、水泳
部、陸上競技部、軟式庭球
部、ソフトボール部があり
ます。愛好会には、合唱、
ラグビー、コンピュータが
あります。
定時制では、運動部に、
軟式野球、軟式庭球、卓球
バドミントン、バレーボー
ル、柔道・剣道があります。
文化部には、囲碁・将棋、
無線・電気があります。

産業安全用品・保護具・環境安全衛生機器のトップメーカー

“ミドリ安全”の全国直販サービスネットをご利用下さい



福島ミドリ安全株式会社

本店・郡山営業所 〒963 郡山市桑野三丁目20-39 ☎(0249)23-5178(代)
福島営業所 〒960 福島市館ノ前14-2 ☎(0245)34-7164(代)

いわき営業所 〒970 いわき市洋向台一丁目1番の2 ☎(0246)25-4060(代)
会津若松営業所 〒965 会津若松市東出町大字石山字村西口840-1 ☎(0242)26-5810

事務局 だより

昭和62年度定例総会

1987 5.17

名簿発行・役員再選

昭和62年度定例総会は、五月十七日(日)午後二時より「多楽食堂」の二階において職員・来賓多数の御臨席を得て同窓生四十五名が参加して開催されました。会長より出席された来賓の紹介があり、また広江事務局長より職員の紹介があり、議事が進みました。おもな内容は、庶務報告、決算報告、予算案等が別紙の通り可決されました。次に同窓会名簿作成について、広江事務局長より次のような説明がありました。現在の同窓生は郡山工業高校、郡山西工業高校、郡山北工業高校の三校合せて一万四千余名になっており、製作会社は関西西廣済堂K・Kで大きさはB五版で十二月下旬発刊予定となっております。名簿製作についての契約は広告料が百六拾万円と二千八百冊の申込みと云うことで、以上の契約が満たされれば、会としては無料で発行が出来ることとなります。従って広告については一頁拾万円、半頁五万円、三分

の二が参万円、四分の一が二万円になっておりますので、周窓生の方々で商売、会社、工場等なさっておられる方は是非御協力いただき、また名簿の購入もよろしくお願ひしたい。価格は一冊三千八百円になっております。会としては、現職員分二百冊と会の在庫分を二百冊合せて四百冊を購入することになります。尚この名簿発行は、昨年実施されました北工十周年記念の一環としての事業の一つであります。との報告で承認されました。続いて役員改選があり、事務局一任

の意見があり、広江事務局長より説明があつて現役員で承認されました。

会 長 渡辺 達英 郡工24機卒
副会長 今泉 善治 郡工26機卒
佐藤 正夫 郡工26機卒
今泉 顕喜 西工40電卒
佐久間秀夫 西工41機卒
加藤 和夫 郡工26機卒
滝田孝太郎 西工42電卒
三木勝彦 北工53化卒

引続いて恒例の懇親会が盛大に行なわれました。

郡山北工現勢

1987. 5. 1

位置	東北緯高	(度) 140°22'44" (度) 37°30'26" (米) 245
校地等	敷地(平方米) 内運動場(ヶ) 校舎(ヶ)	87,297 37,200 21,780
生徒	全 日 制 定 女 子 制 (内時計)	1,248 (137) 90 1,338
教職員	全 日 制 定 時 計 制	116 25 141
進 路	進 学	50
	第2次	228
	第3次	112
	業 別 (自営)	37
日 制	福島県	215 (23)
	東京都	110 (12)
	北宮城東他	8 (1)
	就職地域別	7 (1) 0
定	民間企業	8

(注) カッコ内は女子、自営等。県内就職63%



支 部 連 絡 先

〒	方 部 名	方部長名	卒業年度	勤 務 地	現 住 所
145	東 京 支 部	小野寺 昭	2 3 機	☎03-276-5454 日東紡興産K.K営業部	☎03-729-3611 東京都太田区北嶺27-4
203	東京支部事務局長	渡辺 達良	2 8 建	☎03-364-1365 建築工房 いらか	☎03-364-1365 東京都東久留米市滝山6-2-12-402
320	宇 都 宮 支 部	吉田 良毅	3 1 機	富士重工K.K宇都宮製作所	☎0286-58-8967 栃木県宇都宮市今宮4-1973-3
312	水 戸 支 部	山崎 功	2 9 機	K.K日立製作所 水戸工場	茨城県勝田市市根4950-14
316	日 立 支 部	山川 敏夫	2 7 機	K.K日立製作所 日立工場	☎0249-37-5534 茨城県日立市金沢町5-7-5
362	埼 玉 支 部	土屋 勇	2 9 機	日産ディーゼルK.K上尾工場	埼玉県上尾市緑ヶ丘1-2-23
961	白 河 方 部	清水 国雄	2 5 機	清水建設工業K.K(自営)	☎0248-22-3086 白河市南町44
969-13	郡山市役所方部	加藤 幸司	2 5 機	郡山市役所 水道局	☎0243-48-2811 安達県大玉村玉井字薄黒内127
963-01	日東富久山方部	高橋 英雄	2 5 機	日東紡績K.K富久山工場	郡山市安積町柴宮27-10
963	本 部 会 長	渡辺 達英	2 4 機	☎0249-22-1159 渡辺文房具店(自営)	☎0249-22-1159 郡山市麓山町1-16-28
963	本 部 事 務 局 長	広江 力男	2 4 機	☎0249-32-1199 福島県立郡山北工業高等学校	☎0249-32-6851 郡山市長者2-17-6

ビユープラザ店
(婦人靴・ハンドバッグ) ☎24-1144
希 望 ケ 丘 店
(袋物・靴・アクセサリー) ☎52-0511
ビッグカウンター・サンレモ
(コーヒー・レストラン) ☎24-0541



★新刊 書籍・雑誌・教科書・北工教科書
辞典・参考書・文庫etc 取扱店

(有)松文堂書店

堂前店/郡山市堂前町(如宝寺前) ☎(32)2362

同窓会予算・決算報告

①収入の部

項目	昭61決算額	昭62予算額
繰越金	— 380,165	3,369
会費	1,254,000	1,245,000
入会金	1,290,000	1,290,000
利子	1,744	100
雑収入	85,000	60,000
合計	2,250,579	2,598,469

②支出の部

基本金	508,200	507,000
会議費	216,730	220,000
事務費	25,580	50,000
慶弔費	104,000	150,000
通信費	371,380	400,000
旅費	64,950	120,000
会誌編集費	227,420	200,000
渉外費	18,000	40,000
卒業生関係費	156,750	170,000
事務局費	80,000	80,000
予備費	74,200	261,469
特別費	400,000	400,000
合計	2,247,210	2,598,469

昭和61基本金会計報告

①収入の部

繰越金	2,943,167
利子	123,026
昭62年度基本金	845×3,000×0.2 = 507,000
合計	3,573,193

②支出の部

なし	0
次年度繰越金	3,573,193

新入会員

各年2月末

科年	'88	'87	'86
機械	120	117	119
電気	80	82	82
電子	42	42	42
情報	42	42	43
建築	39	41	41
土木	79	81	82
定機	16	5	3
定電	6	3	6
合計	424	413	418

(注) 88年2月は見込み



昭和六十二年五月頃より同窓生の実家及び現住所に連絡があったと思いますが、何かと皆々様忙がしかった様子で連絡が少なく、又おくれて来た物もあり、結果的に昨年の八月頃集計したものでよれば、八千名が不明で八月より十一月中頃まで電話特設して(四色)電話による調査が開始されました。(電話局勤務者の卒業生に電話帳の御協力をいただき有難うございました。)

この時間が大変だったようので発刊が一ヶ月延期になった理由です。それでも皆々様の御協力により、広告は少し多く集まったようであるので、薄の申し込みは会の購入する分を含めて予定数になるようです。とにもかくにも発刊することができました。で本当に有難うございました。尚広告を希望した方は会報が届き次第、広告代請求書が一緒に行きますのでよろしくお願いたします。

同窓会名簿発刊

教職員異動

職名	氏名	科名	転出先	職名	氏名	科名	前任校
教諭	石沢 弘平	社会	退職	教頭	糠沢 茂夫	保体	本宮高
教諭	渡辺 昭二	機械	退職	教諭	高橋 隆治	英語	田村高
教諭	水野 浩	英語	退職	教諭	大島 功二	電気	白河実
教諭	高館 房男	機械	退職	教諭	青木 勝敏	機械	白河実
臨事補	小野里美香	事務	退職	教諭	甲野藤 栄	機械	福島工
校長	菅野 祐一	理科	富岡養	教諭	千葉 甲子	工化	小高工
教諭	野内 康平	機械	福島工	教諭	佐久間文男	数学	矢吹高
教諭	井戸川恒雄	英語	船引高	教諭	佐藤 義幸	国語	石川高
教諭	増子 芳二	数学	田村高	教諭	金田洋一郎	情報	新採用
教諭	小沢 節雄	工化	会津工	教諭	松浦 伸夫	機械	新採用
教諭	内田 貞夫	電気	白河実	実助	菅家 慶広	建築	新採用
教諭	武藤 次雄	情技	福島工	講師	塚原 修	機械	
教諭	五十嵐 進	国語	喜多工	時師	佐藤 哲哉	英語	湖南高
教諭	川元 昌仙	数学	川俣中	時師	鈴木 将敬	社会	郡養護
実講	金沢 正明	建築	塙工高	時師	三浦かおり	家庭	
主査	高谷 文子	事務	須賀川高	副主査	児玉美智子	事務	郡建設
教諭	尾形 秀枝	家庭	富岡高	主事	武藤 節雄	事務	原町高
教諭	橋本 弘行	体育	奥川中	教諭	吉田会津夫	数学	棚倉高
				教諭	加藤 勝則	社会	新採用

(定時制)

主査	白石 昭二	事務	退職	教頭	富塚 喬夫	数学	船引高
科技部	佐久間房次	理科	教育センタ	教諭	菅野 幸治	機械	二本松
教諭	高野 和雄	社会	安女高	教諭	井ノ口 功	社会	安女高
教諭	水戸部 鍾	機械	二松工	講師	半沢 徹	理科	内郷高
教諭	鈴木 信介	理科	郡山高	副主査	湯田 一雄	事務	田島高

(定時制)

良い子が育つ良い牛乳
あぶくま高原牛乳・あぶくま牛乳

岡田乳業株式会社

郡山営業所 ☎59-4171 五百瀬販売所 ☎23-7232



大友パン

郡山市さくら通り TEL23-6536

同窓会規約

第一章 総則

第一条 本会は福島県立郡山北工業高等学校同窓会と称し、本会の本部事務局は、福島県立郡山北工業高等学校(以下「母校」と称す)内におく。

第二条 本会は会員の親睦を図り互助の事業を行ない、母校教育の振興発展に努め、わが国の工業発展に寄与することを目的とする。

第三条 本会は第二条の目的を達成するため、次の事業を行なう。

- 一 母校の発展と会員の相互扶助に関する事業
- 二 会誌・会員名簿・その他図書印刷物の刊行
- 三 その他目的達成に必要な事業

第二章 会員

第四条 会員を分けて普通会員、名誉会員、特別会員、準会員とする。

- 一 普通会員は県立郡山工業高等学校・県立郡山立郡山北工業高等学校の出身者とする。
- 二 名誉会員は母校の旧校長とする。
- 三 特別会員は母校の現旧職員とする。

四 在校生は準会員とする。

第三章 役員

第五条 本会に次の役員をおく。

- 一 会長 一名
- 二 副会長 四名
- 三 監事 三名
- 四 常任幹事
- 五 幹事 事務局長 一名
- 六 事務局次長 二名

第六条 役員の仕事は次のとおりである。

- 一 会長は本会を代表し、会務一切を統括する。
- 二 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは、その任務を代行する。
- 三 監事は本会の運営及び会計を監査し、幹事に出席し発言できる。
- 四 常任幹事は本会の事業を執行する。
- 五 幹事は本会の事業を審議する。
- 六 事務局長は会務の処理にあたる。
- 七 事務局次長は事務局長を補佐し庶務を分担する。

第七条 本会の役員は次の方法によって選出し、その任期は二年とする。但し再任を妨げない。

- 一 会長・副会長・監事は総会において選出する。
- 二 常任幹事・幹事・事務局長は会長が委嘱する。
- 三 事務局次長は事務局長が委嘱する。

第八章 会議

第八条 本会の会議は総会・幹事会・常任幹事会とする。

- 一 総会は本会の最高決議機関であって、毎年一回会長がこれを召集する。但し幹事会が必要と認めた場合は、臨時に開くことができる。総会は出席人員をもって成立し、決議は出席者の過半数の同意を必要とする。
- 二 幹事会は正副会長・事務局長・同次長・常任幹事・幹事・監事で構成し、総会につぐ決議機関である。
- 三 常任幹事会は正副会長・事務局次長・同次長・常任幹事・監事で構成し、会務を審議執行する。

第九条 必要に応じて役員会を開くことができ、正副会長・事務局次長で構成する。

第十章 会費・会計及び諸帳簿

第十条 本会の経費は会費・入会金・事業収入・寄附金をもってこれをあてる。

第十一章 普通会員は卒業の際終身会費三千円を入学時に入会金三千円を納入する。

但し定時制は卒業時に入会金三千円と終身会費三千円を納入する。

第十二条 本会の入会金、終身会費の二割を、基本金として積立てる。

第十三条 本会の会計年度は四月に始まり、翌年三月に終る。

第十四条 本会の収支は毎年三月末日において決算し、総会に報告する。

第十五条 本会に次の帳簿をおき、事務局で保管する。

- 一 規約綴
- 二 会員名簿
- 三 役員名簿
- 四 会計簿
- 五 記録簿
- 六 文書綴
- 七 備品台帳
- 八 その他必要と認められた帳簿

第十六条 本会に次の集会を設けることができる。

- 一 各支部会
- 二 各科会
- 三 同級会
- 四 その他の会

これらの運営はそれぞれの規約による。

第十七条 本会に次の内規を設ける。

- 一 表彰内規
 - 二 旅費内規
 - 三 慶弔内規
 - 四 会計内規
- 第十七条 本会会員は氏名・住所・勤務先等に変更があった場合、直ちに事務局に連絡しなければならない。
- 第十八条 規約の変更は総会において、出席会員の過半数の賛成を得なければならない。

第七章 附則

- 一 この規約は昭和五十二年十二月十八日より施行する。
- 二 この規約は昭和五十五年五月十八日より施行する。

編集後記

昨年まで編集を担当しておりました、高野和雄教諭が転出されました。その後この会報を私が受け持たせて頂くことになりました。初めての仕事でしたので原稿集め、配置、校正に手間取ってしまいました。何とか形になってきました。これも、皆様の御協力を頂いたおかげだと感謝いたしております。今後ともよろしく御指導御鞭撻の程、切にお願い申し上げます。

(編集委員 原田 智)

「今日のスタミナ源」

給食弁当・仕出し

寿司、おにぎり、オードブル、etc

ご予算に応じて調整いたします。

味とボリュームの弁当

ホクト一食品

代表取締役 島崎 清 (42年建卒)

場 郡山市山崎305-90 TEL22-0166